

審議会等議事概要

平成27年度 第2回滝川市いじめ防止専門委員会 議事概要

日時	平成28年2月15日(月) 10:30～
開催場所	滝川市役所 7階 701会議室
出席者	会長：富家直明委員 委員：中川桂子委員、神原充史委員、豊田収委員 事務局：山崎教育長、田中部長、小野指導参事、吉川課長、堤係長
議事	<p>1 開 会 進行：堤係長</p> <p>2 会長挨拶 富家直明会長より挨拶</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 報告</p> <p>①「たきかわ子ども会議2015」実施報告書について</p> <p>①について、堤係長より報告</p> <p>質疑応答等</p> <p>i 委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・中学校区という単位で小学生を含めた取り組みを行ったのは大変有意義であったと思う。この取り組みに参加した小学生の声を伺いたい。 <p>事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学生にとっては大変新鮮な経験であったと聞いている。進学先の中学校での活動を目にしたことで刺激を受けたという報告が小学生からあったところである。・今後の課題として、訪問した小学生の経験を在籍小学校児童へどのようにフィードバックするかがあげられる。 <p>ii 委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・いじめ対策は個別の事案を検討するだけでなく、取り組みを周知することも大切である。「たきかわ子ども会議」のネット配信は好例である。 <p>(2) 協議</p> <p>①いじめに関する通報・相談状況について</p> <p>②いじめ認知状況について</p> <p>①②について、堤係長より説明</p>

質疑応答等

i 委員)

- ・いじめの相談、通報があった際、迅速な対応がなされていると感じる。

ii 委員)

- ・いじめの相談、通報後の対応において校内組織が機能し、事態の拡大防止に努め、成果を上げていることが認められる。ただ、教師がいじめの相談、通報があって初めて事態を知る側面が見られるのが気になるところである。

iii 委員)

- ・教師の前で生徒が被害を受けた事例があるが、この時、教師がその場で指導をしたのかが資料から読み取れないので、伺いたい。

事務局)

- ・教師によるその場の指導はなかったことが調査により判明している。教師は即刻指導しなければならない事例であり、学校にはいじめへの対応における課題となったことを強く申し伝えたところである。

IV委員)

- ・いじめの認知状況は年度ごとに報告されているところであるが、いじめを受けた心に期間の定めはない。長期に渡り経過観察が必要な事例は年度を問わず資料として提示していただけたらと思う。
- ・相談電話の利用率が高いのが印象的である。これからも、利用率を含めて周知をお願いしたいと思う。

4 その他

北海道知事及び北海道教育庁からのいじめに関する通知について、吉川課長から報告

i 委員)

- ・学校でのいじめはもとより、最近はいわゆる機能不全家族の子どもがふとしたことで命を絶つ行為に走る傾向が見られるようになっている。学校を通じた家庭のサポートは非常に難しいが、多職種、多機関が連携していじめに関わらず子どもの命を守らなければならない場面が出てくるのではないかと感じる。

5 教育長挨拶

6 連絡事項
特になし

7 閉会

会議資料

会議次第